12月3日～9日は障害者週間です

■これらのマークの意味を知っていますか？

街の中には障がいに関する様々なマークが表示されており、それぞれに大切な意味があります。今回一部を紹介しますので、見かけた場合には障がい者への配慮についてご理解、ご協力をお願いします。

障がい者のための国際シンボルマーク

障がい者が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマークです。駐車場などでよく見かけるマークです。
※「すべての障がい者を対象」としたものです。

盲人のための国際シンボルマーク

盲人のための世界共通のシンボルマークです。視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などに付けられています。

身体障がい者標識

肢体不自由であるため免許に条件がついている方が運転する車に表示するマークです。

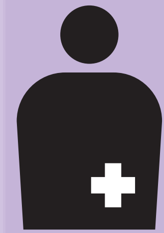
聴覚障がい者標識

聴覚障がいのため免許に条件がついている方が運転する車に表示するマークです。

耳マーク

聞こえが不自由なことを表すマークです。提示された場合、口元を見せてはっきり話したり、筆談でやり取りするなどの配慮が必要です。

オストメイト用設備/オストメイト

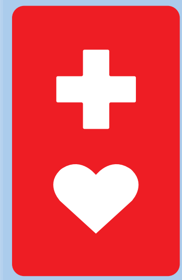


オストメイトとは、がんなどで人工こう門･人工ぼうこうを造設している排泄機能に障がいがある障がい者のことをいいます。このマークはオストメイトであることと、オストメイトのための設備（トイレ）があることを表しています。

ハート･プラスマーク

心臓、じん臓、ぼうこう･直腸等の障がいなど「身体内部に障がいがある人」を表しています。

ヘルプマーク



援助や配慮を必要としていることが外見から分からない方が、身に付けることで周囲の方に配慮を必要としていることを知らせ、援助を得やすくするものです。保健福祉課福祉係（6番窓口）で配布しています。

問い合わせ先　保健福祉課福祉係(32)6522

（広告欄）

満員御礼 温かいご支援ありがとうございました

義援金 **196,505円**

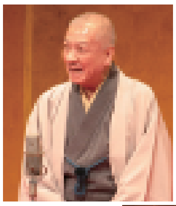
過去8回の累計金額 **2,070,669円**

10月7日（日）佐久平交流センターで、第8回信州すくだせ落語会を開催しました。日曜の忙しい中でしたが、皆さまの温かいご支援のおかげで、予想を上回る20万円に迫る金額が東日本大震災の義援金として集まりました。（累計2,070,669円）

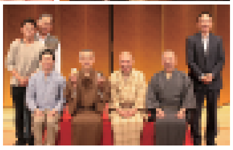
チケットをお買い求めいただいた皆様、また、チャリティー落語会にご協力いただいた皆様、この場をお借りして、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

この落語会は、来年も開催いたします。その際は本年同様、ご協力お願いいたします。

すくだせ落語会 事務局長 大井康史



右）瀧川鯉昇師匠
中）入船亭扇遊師匠
左）入船亭扇辰師匠



出演者全員で記念撮影